

利益相反管理方針の概要

西日本信用漁業協同組合連合会（以下、「この連合会」といいます。）は、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、水産業協同組合法および関係するガイドラインに基づき、利益相反するおそれのある取引を適切に管理するための体制を整備し、利益相反管理方針（以下、「本方針」といいます。）の概要をここに公表いたします。

1. 本方針の対象となる「利益相反のおそれのある取引」は、この連合会の行う信用事業関連業務にかかるお客さまとの取引であって、お客様の利益を不当に害するおそれのある取引をいいます。
2. 次のいずれかに該当する「利益相反のおそれのある取引」を管理対象とします。
 - (1) お客さまとこの連合会との利益が相反する場合
 - (2) この連合会の「お客さまと他のお客さま」との間の利益が相反する場合
3. この連合会は、利益相反のおそれのある取引を特定した場合について、次に掲げる方法により当該お客さまの保護を適正に確保いたします。
 - (1) 対象取引を行う部門と当該お客さまとの取引を行う部門を分離する方法
 - (2) 対象取引または当該お客さまとの取引の条件もしくは方法を変更し、または中止する方法
 - (3) 対象取引に伴い、当該お客さまの利益が不当に害されるおそれがあることについて、当該お客さまに適切に開示する方法（ただし、この連合会が負う守秘義務に違反しない場合に限りです。）
 - (4) その他対象取引を適切に管理するための方法
4. この連合会は、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理に関するこの連合会全体の管理体制を統括するための利益相反管理統括部署およびその統括者を定めます。この統括部署は、営業部門からの影響を受けないものとします。また、この連合会の役職員に対し、本方針および本方針を踏まえた内部規則等に関する研修を実施し、利益相反管理についての周知徹底に努めます。
5. この連合会は、本方針に基づく利益相反管理体制について、その適切性および有効性を定期的に検証し、必要に応じて見直しを行います。